



総務委員会・副委員長
市議:瀬戸裕美子

つくば・市民ネットワーク 市議会速報

発行責任者/つくば・市民ネットワーク会派代表 瀬戸裕美子
つくば市千現1丁目18-5 101 Tel&Fax:859-0264
E-mail:tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://www.geocities.jp/tsukubahotnet/



環境経済委員会委員
市議:永井悦子

12月定例市議会(11月30日~12月17日)が終了しました。

食品表示制度の抜本改正を求める請願

署名3,353筆—継続審議に!

食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願が、環境経済委員会で継続審査になりました。この請願は、「加工食品原料のトレーサビリティ(生産過程の履歴)と原料原産地の表示、全ての遺伝子組み換え食品・飼料の表示、クローン家畜由来食品の表示を義務化」するよう求めるものです。

現在のJAS法では、加工食品の原料についてトレーサビリティ表示の義務がないため、カビの生えた輸入米が食品に使われたり、輸入ギョーザに農薬が混入して中毒事故が発生したり、ミートホープ事件や産地偽装など、食の安全を脅かす事件が後を絶ちません。

また、遺伝子組み換え食品は大豆やトウモロコシなどが大量に輸入され、家畜のえさや加工品の原料として使われていますが、豆腐など一部の食品しか表示義務がなく、消費者は知らずに食べているのが実状です。遺伝子組み換え食品は流通が始まって歴史が浅く、ドイツでは許可になっていた遺伝子組み換えトウモロコシに新たな環境影響が発見されて禁止になるなど、食品としての安全性や生態系への影響について、まだ分からないことが多い状況です。

クローン家畜由来食品は、厚生労働省が安全であると判断し、クローン牛を親とするアメリカ産牛肉の流通が始まっていますが、表示の義務がないため、消費者には全く選択の方法がありません。

これらの表示を義務化する法改正を急いでほしい!—と請願が出されました。市民ネットの永井議員も環境経済委員会の中で、「各事業者の過程で、どこから入ってどういう加工をして、どこに出したか、の記録が義務化されれば、食品のトレーサビリティはできる。まじめな業者が損をしない仕組みで、原産地表示で地元のものを選ぶ人が増えれば、地産地消にも役立つ」と訴えました。しかし、残念ながら市議会では「方向性としては正しいが、小売業者、食品生産者への負担も考える必要がある」という理由で継続審査となり、採決が見送りになりました。

今後は3月議会までに委員会が開かれ、再度審議される予定です。食品表示は、食の安全を守り健康に生活する大前提です。ぜひ採択されるよう、さらに市民の声を拡げていきます。

「安全な学校給食を考える会」

が立ち上がりました!

学校給食センター建て替えに伴う「大規模化見直し」に向け請願活動を始めます。

関心のある方は、ネット事務所(Tel&Fax 859-0264)までご連絡ください!

12月市議会「一般質問」で確認した項目

せと ゆみこ
瀬戸 裕美子

1. 食育推進計画(スケジュール、食育など)
2. 子ども・子育て総合センター(進捗状況など)
3. 学童保育(現状、今後の課題・対応など)
4. つくば市障害者計画(スケジュール、課題など)
5. 市が管理する施設や道路の安全確保の為に工事(現状、工事の判断基準など)

ながい えつこ
永井 悦子

1. つくばの学校教育(小中一貫教育の課題など)
2. 環境基本計画(進捗状況、市民参加など)
3. 緊急雇用創出事業(実施状況など)

詳しい内容は、来年1月中旬発行予定の「つくば・市民ネットワーク通信第21号」に掲載します。配布ご希望の方はつくば・市民ネットワーク事務局(Tel 859-0264)までご連絡ください。

やんば
ハツ場ダム中止の
請願不採択！！

ハツ場ダムは中止し地元の生活再建を！

政権交代と同時に話題急浮上の「ハツ場ダム事業」。計画から半世紀以上も経過し、治水・利水というダムの役割が無くなり、新政権誕生まもなく国交相から「中止」が発表された。工事は未だ続行中。「すでに7割、今止めればもっと無駄」との声もあるが、7割のお金が使われただけで、本体工事は道路・鉄道の付け替えが完了しなければ着手できず、地元住民の代替地造成は10%という状況だ。ハツ場ダム問題に詳しい嶋津氏の試算では、継続すれば今後地滑り対策など1000億円程度の大幅増額は必至一という。

今議会に、ハツ場ダム中止を進め、地元の生活再建を国や県へ求める請願が出された。市民ネットは以前から、すでに水余りの状況で利水の必要性はなく、ダム予定地は脆弱な地すべり多発地帯で仮に建設しても使えない危険なダムとして「ストップ！ハツ場ダム」を訴えており、請願に賛同。しかし、「国が再検証するといっており、先んじて中止推進を求めるのはおかしい」などの反対で、委員会・本会議ともに不採択になった。

かつて長野県では「脱ダム宣言」で一躍話題になったが、その後知事交代により、ダム計画は復活。ダムが完全に中止になるには、関連自治体の同意が整い、初めて「真の中止」になる。

ダム計画に翻弄され半世紀以上、地元の衰退は痛々しい。一刻も早くダムを中止し地元の生活再建をすすめることは、ダム計画を後押ししてきた下流都県にも責任があるのではないだろうか。

請願の採択結果(12月議会)

請願の内容 (採択:○、不採択:×)	結果	つくば・市民ネットワーク	親政の会	つくば市民政策研究会	つくばクラブ	公明党	民主党	日本共産党	新社会党	ネクストつくば	愛してゐるつくば
ハツ場ダム中止や地元生活再建について国・県に意見書提出を求める請願	×		× 棄権:木村・矢口	×	× 棄権:石川	×				×	×
国保一部負担金減免を実施するための要項制定を求める請願	×		× 棄権:木村・矢口	×	× 棄権:石川	×	棄権:今井			×	×
つくば市「小中一貫教育」推進の見直しを求める請願	×		× 棄権:木村・矢口	×	× 棄権:石川	×	×		×	×	×
各会派の所属議員(敬称略) *: 会派代表 (議員数32・議長:鈴木)		*瀬戸永井	*塩田塚本、大久保、木村、市川、塙、矢口	*高野須藤、柳沢安井、吉葉古山	*久保谷松岡、飯岡、石川、鈴木	*小野馬場、浜中山本	*今井田宮五十嵐	*橋本田中	*金子	*星田	*ハイズ

「食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願」は更なる審議が必要と継続審議になりました。